

平成28年度事業報告書

法人の概要

1. 法人名 社会福祉法人景福会
2. 所在地 久留米市青峰3-12-1
3. 設立日 昭和51年11月8日

4. 基本理念及び定款に定める目的

基本理念 和顔愛語 穏やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接します。 目的 利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

5. 沿革

昭和52年 5月 1日 特養唐孔雀園開設(50床)
昭和56年 5月16日 特養唐孔雀園増床50床、定員100床
平成 4年 5月31日 認知性老人専用居室設置(ひだまりの棟)
平成12年10月 1日 唐孔雀園デイサービスセンター開設
平成18年10月 1日 桜花台園(地域密着型特養20床・小規模)開設、唐孔雀園80床に減床
平成18年11月 1日 桜花台園(短期入所生活介護10床)開設
平成23年10月 1日 唐孔雀園短期入所生活介護事業開始(7床)

6. 事業所

施設名	唐孔雀園	施設名	桜花台園
設立	昭和52年5月1日	設立	平成18年10月1日
所在地	久留米市青峰3-12-1	所在地	久留米市高良内町3919-7
責任者	山崎 美寧子	責任者	山崎 美寧子
事業内容	介護老人福祉施設 80床 短期入所生活介護 7床 通所介護定員 18名 居宅介護支援 配食サービス	事業内容	地域密着型介護老人福祉施設 20床 短期入所生活介護 10床 小規模多機能型居宅介護 登録25名 (通い15名、宿泊7名)

7. 理事・監事

氏名	役職	就任年月
山崎 剛	理事長	H8.4.28
山崎 美寧子	理事	H2.1.1
石橋 力	〃	H10.12.28
大久保 正子	〃	H10.12.28
太田 寿	〃	H10.12.28
秋永 俊二	〃	H28.11.8
古賀 昭	監事	H6.5.29
武藤 賢之	監事	H22.11.8

8. 事業所別職員数(管理者除、派遣含)

H29.5.1現在

職種/勤務形態	唐孔雀園		桜花台園		合計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
介護職員	10	23	8	13	23	45
看護職員		4	3		2	1
リハビリ		1	1		0	1
ケアマネ・相談員		6		3		9
栄養課職員		1		1		2
事務職		4		2	0	6
運転手・営繕その他		1	3		1	3
合計		40	15		31	9

介護職員()内は介護(社会)福祉士。育休等、長期休暇者は除く

9. 財務状況

(百万円)

	27/3	28/3	29/3
サービス活動収益	549	537	531
サービス活動増減差額	12	1	▲24
経常増減差額	10	▲1	▲22
当期活動増減差額	10	▲1	▲22
減価償却費	31	31	31
補助金等積立金取崩	▲11	▲11	▲10
次期繰越収支	317	317	294
総資産	871	852	790
自己資本	719	707	675
借入金	84	71	57

10. 施設・事業別収益状況

(百万円)

	27/3	28/3(A)	29/3(B)	(B)-(A)
唐孔雀園				
特養	312	312	309	▲3
デイ	22	19	18	▲1
ショート	9	7	10	3
ケアプラン	3	2	2	0
給食	5	4	4	▲1
合計	351	344	342.3	▲2
桜花台園				
特養	99	99	98	▲1
ショート	44	42	40	▲2
小規模	56	52	50	▲2
合計	198	193	188	▲5

施設・事業別利用者推移

唐孔雀園

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	H28	2,372人	2,366人	2,378人	2,371人	2,463人	2,378人	2,407人	2,276人	2,400人	2,358人	2,083人	2,215人	28,067人
	H27	2,299人	2,443人	2,400人	2,475人	2,373人	2,327人	2,400人	2,355人	2,431人	2,471人	2,321人	2,474人	28,769人
	H26	2,348人	2,412人	2,381人	2,480人	2,456人	2,305人	2,332人	2,244人	2,428人	2,367人	2,167人	2,404人	28,324人
	28-27	73人	-77人	-22人	-104人	90人	51人	7人	-79人	-31人	-113人	-238人	-259人	-702人
延数	27-26	-49人	31人	19人	-5人	-83人	22人	68人	111人	3人	104人	154人	70人	445人
	H28	231人	188人	193人	202人	205人	192人	185人	199人	204人	178人	165人	199人	2,341人
デイ	H27	224人	215人	218人	220人	220人	236人	237人	210人	214人	171人	201人	205人	2,571人
	H26	235人	244人	223人	237人	240人	233人	241人	220人	255人	228人	223人	234人	2,811人
	28-27	7人	-27人	-25人	-18人	-15人	-44人	-52人	-11人	-10人	7人	-36人	-6人	-230人
延数	27-26	-11人	-29人	-5人	-17人	-20人	3人	-4人	-10人	-41人	-55人	-22人	-29人	-240人
	H28	136人	96人	116人	108人	123人	71人	96人	16人	17人	6人	26人	45人	856人
ショート	H27	47人	49人	34人	27人	64人	50人	66人	70人	58人	59人	58人	63人	645人
	H26	108人	64人	96人	114人	96人	55人	51人	52人	49人	45人	54人	41人	825人
	28-27	89人	47人	82人	81人	59人	21人	30人	-54人	-41人	-53人	-32人	-18人	211人
延数	27-26	-61人	-15人	-62人	-87人	-32人	-5人	15人	18人	9人	14人	4人	22人	-180人
	H28	20件	16件	20件	19件	22件	23件	22件	22件	20件	18件	18件	18件	240件
居宅	H27	19件	18件	18件	20件	20件	20件	21件	19件	20件	19件	20件	20件	234件
	H26	18件	20件	25件	25件	24件	24件	24件	24件	24件	23件	22件	21件	274件
	28-27	1件	0件	2件	-1件	2件	3件	1件	3件	0件	-1件	-2件	-2件	6件
請求数	27-26	1件	-2件	-7件	-5件	-4件	-4件	-3件	-5件	-4件	-4件	-2件	-1件	-40件
	H28	593食	520食	580食	515食	561食	515食	544食	487食	506食	460食	419食	452食	6,152食
給食	H27	667食	565食	656食	605食	584食	546食	666食	589食	576食	557食	577食	618食	7,206食
	H26	704食	642食	745食	717食	643食	595食	688食	629食	818食	714食	600食	683食	8,178食
	28-27	-74食	-45食	-76食	-90食	-23食	-31食	-122食	-102食	-70食	-97食	-158食	-166食	-1,054食
延食数	27-26	-37食	-77食	-89食	-112食	-59食	-49食	-22食	-40食	-242食	-157食	-23食	-65食	-972食

桜花台園

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	H28	588人	611人	584人	606人	620人	600人	620人	600人	600人	620人	560人	617人	7,226人
	H27	586人	589人	592人	620人	569人	551人	598人	584人	620人	604人	580人	611人	7,104人
	H26	584人	601人	588人	620人	620人	596人	610人	570人	599人	608人	560人	620人	7,176人
	28-27	2人	22人	-8人	-14人	51人	49人	22人	16人	-20人	16人	-20人	6人	122人
延数	27-26	2人	-12人	4人	0人	-51人	-45人	-12人	14人	21人	-4人	20人	-9人	-72人
	H28	282人	259人	265人	290人	300人	260人	256人	261人	261人	282人	257人	286人	3,259人
ショート	H27	270人	275人	274人	273人	278人	276人	281人	284人	294人	284人	280人	296人	3,365人
	H26	240人	302人	286人	295人	302人	293人	301人	292人	303人	274人	261人	297人	3,446人
	28-27	12人	-16人	-9人	17人	22人	-16人	-25人	-23人	-33人	-2人	-23人	-10人	-106人
延数	27-26	30人	-27人	-12人	-22人	-24人	-17人	-20人	-8人	-9人	10人	19人	-1人	-81人
	H28	514人	557人	493人	482人	462人	454人	481人	490人	519人	465人	476人	540人	5,933人
小規模	H27	543人	573人	546人	529人	546人	550人	546人	498人	508人	523人	509人	514人	6,385人
	H26	626人	612人	608人	663人	673人	657人	627人	620人	654人	589人	489人	556人	7,354人
	28-27	-29人	-16人	-53人	-47人	-84人	-96人	-65人	-8人	11人	-58人	-33人	26人	-452人
延数	27-26	-83人	-39人	-62人	-134人	-127人	-107人	-81人	-122人	-146人	-46人	20人	-42人	-969人

特養の利用者諸表(唐孔雀園+桜花台園)

入所年齢別・性別

(単位：名)

性別\期間	60～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男	3	4	0	7	4	1	1	0	20	80.7歳
女	1	6	11	11	22	15	10	1	77	85.6歳
計	4	10	11	18	26	16	11	1	97	84.6歳

男性 最高 98歳 最低 68歳

女性 最高 100歳 最低 64歳

在所期間

(単位：名)

性別\期間	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8～10年未満	10～15年未満	15年～	計
男	10	2	0	0	2	3	1	1	1	0	20
女	14	12	10	9	6	9	6	6	4	1	77
計	24	14	10	9	8	12	7	7	5	1	97

ADL調査表

(単位：名)

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	41	5	4	11
介助で出来る	31	34	35	6
全然出来ない	16	48	48	80
経管栄養	7			
胃ろう	2			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり)

(単位：名)

問題行動	名	率(%)	問題行動	名	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	5	5.2%	独語	16	16.5%
大声・暴言	13	13.4%			
暴力・介護抵抗	12	12.4%			
収集癖	7	7.2%			
異食	7	7.2%			
不潔行為	8	8.2%			

要介護度状況

(単位：名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男	1	1	3	8	7	20	4.0
女	0	5	10	23	39	77	4.2
計	1	6	13	31	46	97	4.2

事業実績表(法人本部・事務部門)

実施日	名称	場所	参加者数	内容
4月15日	全国老人福祉施設協議会情勢報告	福岡市 八仙閣	1名	改正社会福祉法の今後の流れ 平成27年度介護報酬改定後の動向
5月16日	監事監査	園内	2名	平成27年度事業報告・財産目録・ 貸借対照表・収支計算表等の監査
5月18日	社会福祉法人 役員研修会	久留米市 えーるピア	3名	「社会福祉法改正への対応」 市健康福祉部による指導監査の説明
5月26日	評議員会 理事会	久留米市 マリターレ創世	評議員10名 理事 6名	平成27年度事業報告・財産目録・ 貸借対照表・収支計算表等の報告 就業規則、給与賞与規程の一部変更 介護支援ソフトの更新
7月14日	平成28年度第1回 社会福祉法人 経営者セミナー	福岡市 九州ビル	1名	社会福祉法人法の一部改正と社会福祉 法人に求められるもの
7月14日	高齢者施設の 大規模災害対策セミ ナー	福岡市 あいおいニッセイ 同和損保	1名	高齢者施設の大規模災害対策
7月27日	ストレスチェック 制度セミナー	久留米市 シティプラザ	1名	ストレスチェック導入とのコツと活用
8月3日	労務管理研修	春日市 クローバープラザ	1名	社会福祉法人の経営における労務管理
8月9日	社会福祉法人 制度改革対応セミナー	福岡市 JR博多シティ	1名	社会福祉法改正への対応と実践 地域の公益的な取組みについて
9月23日	平成30年の医療・介護同 時改定に向けた経営戦 略	福岡市 エルガーホール	1名	地方行政と医療・社会福祉法人等における 実践 地域包括ケアにおける事業戦略と組織運営 のポイント
9月29日	福祉サービス苦情解決 事業従事者研修会	春日市 クローバープラザ	2名	運営適正化委員会による苦情受付状況報告 「福祉サービスにおける苦情解決の課題」
10月29日	評議員会 理事会	久留米市 マリターレ創世	評議員10名 理事 5名	理事・監事の選任、預り金規程の改定 唐孔雀園の耐震診断、 平成28年度上期事業活動報告等
11月8日	理事会	唐孔雀園 会議室	理事6名	代表理事の選任 代表理事職務代行者の選任
11月15日	南部地区障害者 雇用促進セミナー	久留米市 久留米 ビジネスプラザ	1名	障害者雇用の状況
11月30日	社会福祉法人制度 改革対応セミナー	福岡市 JR博多シティ	1名	改正法を活かした社会福祉法人の法人 経営
1月21日	評議員会 理事会	久留米市 マリターレ創世	評議員12名 理事 6名	介護予防・日常生活支援総合事業への参加 定款・同施行細則の変更 役員等報酬規程新設 役員賠償責任賠償保険の加入
3月7日	評議員選任・解任 委員会	桜花台園	委員 3名	評議員選任
3月25日	評議員会 理事会	久留米市 マリターレ創世	評議員 10 名 理事会 5 名	平成28年度補正予算 平成29年度事業計画および予算

唐孔雀園(特養・ショート)

■運営

・全般

利用者様がその人らしく安心して生活を送って頂けるよう、より良い施設サービスの提供に取組んできました。安全面では、見守り不十分が原因で転倒事故が同じ利用者様で複数回見られました。見守り強化の体制づくりと、未然防止のための知識習得や意識向上を図る必要があります。

衛生面では、3月にインフルエンザ罹患者が発生、その後の迅速な対応で他のフロアへの感染も防ぎ、拡散することなく終息する事ができました。今後も清掃職員と協力し、感染症の発生を未然のように、引き続き衛生面に留意して環境整備に努めていきます。

食事では、経口維持の取り組みを積極的に行なっていますが、利用者それぞれのペースに合った摂取ができなかったり、介助技術の不足等によりまだまだ十分ではありません。今後職員への指導・研修を積極的に行なっていきます。

また、利用者様の状態について職員間の共有が不足しているため、職員全員が状況を把握できる体制が取れるように努力してまいります。

■施設サービス計画

担当会議は、通常1年に1回開催し施設サービス計画書を作成していますが、退院後や体調不良等によりADLの低下が見られた際は、その都度会議を開催して施設サービス計画書の見直しを行っています。また新規入所の利用者様については、暫定プランを作成し、入所後1ヶ月以内と6ヶ月後に会議を開催しています。

■リハビリ

リハビリは、5月から常勤PTの入職により、7月から機能訓練加算算定を再開しました。現在の入所者様の機能訓練実施は、ベッドサイド:30名、機能訓練室:50名で行っています。ベッドサイドでは臥床レベルである為拘縮の進行防止とポジショニング、機能訓練室では、身体機能の維持・向上並びにADL能力アップとして関節可動域練習、筋力増強練習、基本動作練習、歩行練習、ADL練習、物理療法等を行っています。

■ショートの利用推進

H28年度は、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、介護老人保健施設等へショートステイの空き状況のFAXや、以前からショート利用の紹介をして頂いていた事業所へその後の経過等の確認を行いました。また、特養に入所申込みをされた方にショートステイやロングステイの案内を行った結果、徐々に新規利用者やロングショートの利用者の紹介等が増えて利用日数の増加に繋がりました。しかし、10月頃よりロングショートの方が、当園入所や他施設入所のため、利用者数が減少しH29年3月末の稼働率も20%まで落ちる状況となりました。

■利用者・家族との関係作り

H28年度もご家族様と積極的にコミュニケーションをとり信頼関係づくりに努めていましたが、まだまだ十分なものとは言えません。

5月と9月に家族懇談会を開催し、ご家族様の要望等お話ししていただくようにしていますが、ご家族様の来園時に利用者様の状況説明やご家族様から要望聞き取りが不十分でした。要望等についてはすぐに上司への報告・連絡・相談を行い、対策を立て実行するようにしています。今年度、ご家族様へ当園へのご意見やご要望を募るアンケートを郵送した結果、多くの方々からのご意見を頂きました。今後の施設サービスに反映できるように改善を図ってまいります。

■入所待機者の確保

H28年度は入所申込み数が少なく、入所待機者数は減少しました。ショートの実業と併せ居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・病院等を訪問し入居者確保に努めましたが、退所者数が19名と多く、増加までは至りませんでした。

■職員教育(研修)

H28年度も県社協、老施協主催の研修及び、その他の研修に参加する事で職員の資質向上に努めてきました。また、園内研修においても当初の計画通りに開催することができました。課題としては、H28年度は人員不足により園外研修の参加が減ったことを踏まえ、今後は研修参加の機会を増やすと共に、研修参加者による他の職員へのフィードバックを行う場を作る事が重要だと思われまます。また園内研修においても、職員が講師となる事で知識・技術のより深い理解が得られるよう計画をしていきます。

■各種委員会(改善点できたもの・改善中のもの)

・排泄ケア委員会

オムツ・パットの使用量が増加している為、各棟にパット配りの統一と各利用者にあった物を使用しているかを確認し、現在改善を図っている所です。また今後もオムツの研修をなるべく職員全員に参加して頂き、失禁や褥瘡予防に繋げていきます。

・感染症対策委員会

H28年度も感染予防の基本は、職員に周知徹底ができたのではないかと思います。感染症の流行時期には、その都度委員会を開催し対応策を決定しましたが、2月にインフルエンザの罹患者がでました。速やかに罹患患者隔離・同室者の予防投薬・面会制限実施及注意喚起ポスター掲示、行事等を中止したことで、拡散することなく終息する事ができました。

・事故防止対策委員会

定時、臨時での委員会の開催、対策の立案は行えました。又、ヒヤリハット報告書による情報収集も少しずつですが出ています。しかし、同じ利用者様が転倒を繰り返される等、対策の練り直しが必要な場面もありました。また、見守り不十分のため事故原因がはっきりわからないこともあり、日々の状態観察に努めて、さらなる情報収集を行い事故防止に努めていきます。

・褥瘡対策委員会

H28年度も褥瘡予防に努めてきましたが、体位交換の除圧の指導が職員全員に行き届かなかった事と、利用者様の栄養状態の低下により褥瘡発生者が十数名見られました。

褥瘡予防を第1目標として取り組んでいます。褥瘡ができやすい利用者様には、看護・介護で早期発見を心掛け、医師、PT、栄養士と連携し重度にならない対応しています。

・身体拘束廃止委員会

H28年度は、経管チューブの自己抜去や搔痒感による掻き廻り、異食行為によるミトン使用者4名、ベッドから転落可能性が高いため夜間帯のみベッド2点柵利用者1名の計5名の身体拘束を実施。毎月1回定期的に委員会を開催し、身体拘束を行っている利用者様の状態や身体拘束の必要性について検討・見直しを行う事により、身体拘束ゼロを目指していきます。

・接遇委員会

H28年度は、職員同士で互い注意し、接遇マナーの改善に努めました。ご利用者様に対する言葉使いが、子供に話しかけるような声かけや命令口調での言葉かけ等少なからず見られました。今後は、職員同士で連携しながら言葉使い注意し、ご家族様にも引き続き積極的に接していきたいと思えます。

・入浴ケア委員会

平成28年度も、プライバシーに配慮した入浴に関しては、新たにカーテンを取り付ける等の対応を行いました。入浴介助中の配慮については、十分に守れなかった部分がありました。また、入浴介助を行う職員の数も十分に確保できず、ゆっくり入浴して頂けない事もありました。今後は、利用者様がゆっくり入浴して頂けるように努めていきます。

■利用者諸表(特養)(H29年3月31日現在)

入所年齢別・性別

(単位：名)

性別\期間	60～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男	3	4	0	4	3	1	0	0	15	78.6歳
女	1	6	9	8	18	11	8	1	62	85.10歳
計	4	10	9	12	21	12	8	1	77	84.5歳

男性 最高 90歳 4月 最低 67歳 10月
女性 最高 100歳 1月 最低 64歳 4月

在所期間

(単位：名)

性別\期間	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8～10年未満	10～15年未満	15年～	計
男	9	0	0	0	0	3	1	1	1	0	15
女	10	11	7	7	6	9	5	2	4	1	62
計	19	11	7	7	6	12	6	3	5	1	77

ADL調査表

(単位：名)

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	32	3	3	10
介助で出来る	20	27	27	3
全然出来ない	16	47	47	64
経管栄養	7			
胃ろう	2			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり)

(単位：名)

問題行動	人	率(%)	問題行動	人	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	2	3%	独語	11	14%
大声・暴言	10	13%	幻視・幻聴	7	9%
暴力・介護抵抗	8	10%	物を破る	2	3%
収集癖	6	8%	帰宅願望	4	5%
異食	4	5%	物盗られ妄想	3	4%
不潔行為	6	8%	被害妄想	7	9%

要介護度状況

(単位：名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男	1	1	3	6	4	15	3.7
女	0	5	7	18	32	62	4.2
計	1	6	10	24	36	77	4.1

■ 行事実績

実施時期	行事名	内容・成果
毎週土曜日	生花教室	毎回、生花は園内ロビー等に飾っており、利用者様やご家族に好評。
月2回	音楽リハビリ	利用者の7割程度がいつも参加され、非常に好評。日頃、発語がない方も唱歌や童謡は口ずさまれる。
第4月曜日	誕生会	誕生カード・バラを渡し、誕生膳でお祝い。ご家族に誕生会の様子を手紙と写真でお知らせし、喜ばれている。
第3木曜日	はいから食堂	常食利用者様を対象に、職員も参加する昼食及びおやつを提供を6/16、10/20、H29年2/16、の3回開催し、好評。
第4月曜日	口腔ケア指導	さくら歯科訪問歯科診療の歯科衛生士より口腔ケア指導を受ける。
H28年3月31日	お花見	利用者様7名、職員4名にて花見ドライブを行った。
5月8日	母の日	母の日のプレゼントとしてカーネーションとカードを渡す。
5月12日	入所検討委員会	15名の入所待機者の検討を行い、優先順位を付ける。
5月19日	創立39周年記念行事	式典で祝辞、祝吟・ピアノ演奏・祝舞があり、その後家族懇談会を行われた。
6月9日	防火避難訓練	消防署・角消防の指導による防火訓練が行われた。
6月19日	父の日	利用者様に父の日のプレゼントとしてバラとカードを渡す。
7月7日	七夕	6月より利用者様と七夕飾りを作り、利用者様に願い事を短冊に書いてもらい玄関ロビーと各棟に飾る
7月10日	盆踊り大会	訓練室にて盆踊り大会を行い、利用者様・ご家族様も一緒に踊られる。他にカラオケ・ゲーム・バザーも催しあり。
8月12日	盆供養	平成27年8月～28年6月までにご逝去された利用者様の初盆供養
9月15日	長寿のお祝い(贈呈式)	久留米市より90歳・95歳・100歳の利用者様へ祝状・祝金贈呈
9月19日	第40回敬老大会	式典では祝辞、長寿の祝いで頂いた祝状等贈呈及び米寿等の利用者様も祝う。午後、家族懇談会、祝舞・大正琴・ピアノ
10月13日	運動会	訓練室にて運動会を行う。綱引き・玉入れ等5種目の競技実施
11月14日	入所検討委員会	13名の入所待機者の検討を行い、優先順位を付ける。
11月10日	防火避難訓練	消防署・角消防の指導による防火訓練が行われた。
12月15日	年忘れ大会	クリスマスツリーや飾り付けを行い、職員によるカラオケや出し物・音楽リハ・ピアノソロ。サンタによるプレゼント贈呈。
1月1日	新年祝賀式典	理事長出席の下、式典を行う。
2月中旬	お雛様飾り	玄関ロビーにお雛様を飾り付ける。

■ 研修実績 (園外研修)

実施時期	研修名	内容・成果
5月23日	H28年度集団指導	介護保険制度に係る情報収集等
6月14日	感染症予防研修	福祉施設における感染症予防対策について
6月15日	喀痰吸引等研修説明会	喀痰吸引等研修の申し込み方法等の説明会
7月7日	社会福祉施設役職員研修	中堅職員の職務遂行に必要な知識の修得
7月11日	第2回職員研修	職員のストレスマネジメントと認知症高齢者への理解を深める
7月21日	久留米市医療安全対策研修会	医薬品の安全な管理及び対策について
8月22日	福岡県喀痰吸引研修	介護職員等による喀痰吸引等について
8月27日	生活相談員研修	これからの生活相談員の仕事について考える

■ 研修実績(内部)

実施時期	研修名	内容・成果
4月10日	認知症	認知症のケア
4月15日	入浴	ADL表作成
4月16日	緊急時対応	夜間対応について
5月7日	排泄ケア	排便の異常
5月28日	感染予防	感染と発病のメカニズム
6月9日	食中毒	食事ケア
6月13日	ターミナルケア	死後の処置
6月18日	身体拘束	身体拘束とはなにか
6月30日	認知症	研修報告
7月8日	食中毒	事例検討
7月16日	感染予防	安全管理とリスクマネジメント
7月23日	薬の知識	研修報告
8月6日	熱中症	熱中症予防
8月14日	認知症	周辺症状への対応
8月29日	高齢者虐待	研修報告
9月17日	緊急時対応	誤嚥窒息対応
9月24日	ターミナル	職員の心の健康
10月22日	感染予防	インフルエンザ予防
10月29日	倫理服務規程	プライバシー保護
11月17日	食中毒	事例検討
11月24日	感染予防	ノロウイルス
12月10日	接遇	研修報告
12月24日	リスクマネジメント	施設におけるリスクマネジメント
2月25日	研修報告	事例検討
3月17日	安全衛生委員会総括	1年間の総括
3月24日	人権	人権擁護

■ 地域交流

実施時期	行事名	内容・成果
8月8日	高良内校区夏祭り	「よかつさい」祭りに参加
9月5日	地域合同防災訓練	① 消防署からの防災に関する講話② DVD視聴③ スモーク体験
11月3日	秋祭り	出店・イベント・バザー等
7月8日	介護予防教室:39名	笑いヨガ教室
9月11日	保育園との交流会	ニュータウン保育園児による合唱、演劇等
10月3日	高良内校区敬老会	カラオケ、舞踏
10月23日	明星中学校人権のつどい	作品展示
11月12日	介護予防教室:28名	ケアピクス
11月13, 14日	高良内校区文化祭作品展示	利用者の手作りの貼り絵、小物作品を展示
12月6日	青峰校区文化祭	作品展示・餅つき
3月16日	介護予防教室:32名	高齢者の防犯対策

9月2日	社会福祉法人制度改革セミナー	ストレスに向き合うセルフケア・ストレスチェック制度等
9月28日	福祉サービス苦情解決従事者研修	福岡県運営適正化委員会における苦情受付状況等について
10月20日	高齢者施設に対する防犯研修	施設の防犯、安全対策について
10月26日	福岡県社会福祉大会	記念講演、総会・式典
11月18日	中堅職員研修	「人間関係の築き方、指導する際の関わり方」等
11月18日	久留米市老協公開講演会	住民と連携・協働する地域ケアのすすめ
11月25日	感染予防研修会(後期)	冬に流行する感染症予防対策
11月30日	社会福祉法人制度改革セミナー	改正法を活かした社会福祉法人の法人経営等
H29年1月27日	老協第21回研究大会	研究大会及び交流会
H29年2月9日	災害への備えに関する説明会	土砂、水害などに関する防災気象情報の活用等について
H29年2月13日	医療・介護従事者交流会	地域包括ケアシステムについて等
H29年2月15日	企業内人権啓発事業主研修会	人権に関する講話等
H29年3月2日	個人情報保護法全国説明会	個人情報保護法の基本ルールの確認

(園内研修)

実施時期	研修名	内容・成果
4月14日	倫理及び法令遵守について	介護職員の職業倫理について学ぶ。
4月25日 5月2日	口腔ケアについて	歯科衛生士より高齢者のための口腔ケアについて
5月12日	接遇研修①	施設職員のための接遇マナーについて
5月23日	正しいオムツ装着①	ケアルートより正しいオムツの当て方について
6月6日	食中毒の予防・まん延防止	食中毒発生予防について
6月13日	感染症予防・まん延防止	感染症予防と手洗いについて
6月30日	身体拘束廃止・虐待研修	認知症の高齢者虐待について
7月11日	褥瘡のメカニズム①	褥瘡発生のメカニズムについて
7月11日	医療に関する教育	島倉先生より喀痰吸引について
7月14日	認知症ケア	認知症の原因疾患及びケアについて
8月8日	事故の発生予防及び再発防止	高齢者施設のリスクマネジメント研修
9月8日	事故の発生等の心肺蘇生について	救急救命士より心肺蘇生について、実技含む
9月12日	入浴介助	安全な入浴ケアについて
10月6日	プライバシーの保護の取り組み	プライバシー保護のマニュアルについて
10月31日	接遇研修②	施設職員のための接遇マナーについて
11月14日	褥瘡の予防と管理②	褥瘡の予防とケアの仕方について
11月17日	正しいオムツ装着②	ケアルートより正しいオムツの当て方について
12月12日	インフルエンザ・ノロウイルス	冬の感染症とその予防対策について
1月16日	リハビリ	高齢者の座位機能と車椅子との関連性について
2月13日	正しい食事介助方法	安全な食事介助について
3月13日	ターミナルケア	ターミナル期の状態及び流れについて

■地域交流

実施時期	行事名	内容・成果
8月27日	青峰校区夏祭り	青峰校区の子供会のおみこしが来て、利用者様と触れ合う。
10月22日	人権のつどい	明星中学校にて施設紹介と利用者様の作品展示
11月20日	高良内校区文化祭	利用者様の作品展示
12月4日	青峰校区文化祭	利用者の作品展示、職員もちつき参加。 文化祭当日、利用者様は職員と共に見学する。
3月16日	第3回介護予防教室	高齢者の転倒について

唐孔雀園(デイサービスセンター)

■運営全般

- ①利用者に対し、日々の健康体操、口腔体操、各行事等を通して、身体機能・残存能力の維持・向上を図り日常生活の継続的な支援に努めた。
- ②永年にわたり社会に貢献してこられた利用者に対し、尊敬と敬愛を持って接し、職員が研修等で培った質の高いサービスの提供に努めた。
- ③久留米市、地域の保健・医療・福祉協議会・老人会等との情報収集・交換に努め、連携を図りながら地域の諸行事に積極的に参加し、地域福祉の拠点として地域に貢献した。

重点項目に対する評価

- ①利用者個々の立場を考えて対応し、明るい笑顔を忘れずに、利用される日が心安らぎ、満足した1日を過ごされるように努めた。
- ②利用者の居宅サービス計画書、介護予防サービス・支援計画書に基づいた地域密着型通所介護計画書介護予防通所介護計画書で地域と交流を持ちながら、自立的な生活が出来るように支援した。
- ③地域密着型通所介護事業所として、地域の諸行事に積極的に参加するとともに、居宅支援事業所等への定例訪問、1日無料体験利用、見学等積極的に情宣活動を実施し利用者の増加に努めた。
- ④利用者の充実した1日を過ごしていただくために、利用者の意見を取り入れながら、毎日の行事内容を検討し、行事を魅了ある充実したものとするに努めた。
- ⑤外部研修への積極的な参加、毎月の内部研修の実施を行い、職員全員への周知徹底を図り、職員全員のスキルアップに努めた。

■地域交流

実施時期	行事名	内容・成果
7月	青峰校区子供会	校区内の子供たちと利用者との懇親を図った
11月	高良内校区文化祭	はり絵、ぬり絵等利用者の作品を展示
12月	青峰校区文化祭	ぬり絵、書道、はり絵等利用者の作品を展示

■行事実績

実施時期	行事名	内容・成果
4月	お花見	つつじ園(高良山)見学(延23名)
5月	バスハイク	八女大茶園新緑ドライブ(延13名参加)
6月	紫陽花見学	石橋文化センター 紫陽花見学(17名参加)
7月	そうめん流し	竹を使い、本格的なそうめん流し(延24名参加)
8月	夏祭り	屋台、ゲームでお祭り気分を味わっていただいた(延22名参加)
9月	敬老会	職員による演芸(18名参加)
10月	運動会	利用者様と職員合同の紅白運動会(15名参加)
11月	バスハイク	耳納の里見学(9名参加)
12月	年末お楽しみ会	クリスマス会と一緒に実施、カラオケ、ケーキ作り(延18名参加)
1月	初詣	七木地藏尊(延13名参加)
2月	節分	鬼退治寸劇(延11名参加)、梅林寺梅花見学(17名)
3月	ひな祭り	世界のつばき館・道の駅くるめ(延20名参加)、花見(14名参加)

・毎月実施

毎月	音楽リハビリ	童謡・歌謡曲等を歌い、体操を行ってリハビリを実施(専任講師)
毎月	ケアピクス	介護予防に役立つ体操を実施(専任講師)
毎月	誕生会	毎月、誕生者に、ケーキと花束、色紙を贈呈しお祝いをした
毎月	おやつ教室	利用者様同士及び職員のコミュニケーション作りに役立てた
毎月	お買い物	毎月、道の駅等場所を変え、買物を楽しんでいただいた
毎月	ビデオ上映会	若かりし頃の、娯楽作品を中心に上映を行った

唐孔雀園(ケアマネジメント課)

■運 営

全般

高齢者の皆様が、介護が必要となられた状況でも、住み慣れた自宅で生活が継続できるように介護保険サービスを中心に活用しながら支援を行いました。

しかし、軽費老人ホーム(ケアハウス)・有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅への住み替えを行っていく方も多くなり、在宅の定義も広義にわたってきています。また、利用者の自宅での介護期間も短くなり、短期間で施設系サービスの希望が多くなっています。

さらに、老人保健施設・グループホーム・住宅型有料老人ホーム・療養型施設への紹介・調整のニーズも増えている。また、平成29年度より、久留米市においても、総合事業が開始されるため、利用者への広報活動を行い、円滑な導入が出来るように支援を実施しました。

目標に対する実績

久留米市介護福祉サービス事業者協議会・久留米市地域包括支援センター・久留米市役所(長寿支援課・介護保険課等)との連携を図りながら、介護保険サービス及び高齢者福祉サービスを活用して、利用者への介護支援業務を適切に出来た。また、困難ケースについては各機関と調整を行い実施しました。

取り組み事項の成果

地域の皆様へ、介護保険及び高齢者福祉サービスの理解を深めて頂くために、当法人における介護予防教室の実施及び久留米市介護福祉サービス事業者協議会委員及び久留米市地域在宅医療他職種地域リーダー等の役割に携わることが出来ました。

また、久留米市介護保険課より委嘱されてケア豆辞典の編集にも参加しており、29年度も継続される予定です。こうした様々な取り組みの結果、地域での認知度が高まり、当法人の支援活動を行いやすい環境づくりが図られたと思っています。

■主な研修実績

実施時期	行事名	内容・成果
6月7日	平成28年度 福岡県集団指導	講師：久留米市役所 介護保険課 「平成28年度 居宅介護支援業務についての変更点」
7月15日	久留米市介護福祉サービス 事業者協議会 介護支援専門員部会 主催	講師：筑後市立病院 認定看護師 洪田先生 「高齢者のスキントラブルの予防とケアについて」
8月19日	久留米市役所介護保険課 総合事業チーム 主催	講師：久留米市役所 介護保険課 総合事業チーム 「介護予防・日常生活支援総合事業の概要説明」
11月14日	久留米市役所介護保険課 総合事業チーム 主催	講師：久留米市役所 介護保険課 総合事業チーム 「第2回 介護予防・日常生活支援総合事業説明」
11月25日	久留米市役所 長寿介護課主催	講師：福岡県社会福祉士会 稲吉先生 「平成28年度 久留米市高齢者虐待防止研修」
3月14日	平成28年度 久留米市地域 包括支援センター合同研修 会	講師：久留米市地域包括支援センター 代表職員 「総合事業についてのQ&Aなどについて」

桜花台園(特養・ショート)

■運営

【特養】

- ①年間2回(8月、2月)に入所検討委員会を行い8月は待機者33名、2月は30名であった。前年度と比較し数名の減少がみられる。介護保険法改定による介護度制限や負担限度額認定変更、さらにはグループホーム、有料老人ホーム等の競合施設の増加が原因と思われる。
- ②今年度退所者は1名と、この10年間で最小の年となり、短期入院による空所を除くとほぼ100%で稼働する事ができた。日々の状態観察を徹底し、「介護」と「看護」とのスムーズな連携及び看護・主治医間の速やかな報告、指示により適切な医療処置及び通院を行ってきた結果だと思われる。
- ③28年度の平均利用介護度は1年間を通して4.3となった。経管栄養のご利用者は現在1名。
- ④家族会を6月に開催し、今回は特養・ショートステイ合同の家族会とし、食事をしながら和やかな雰囲気で行う事ができた。
「家族と家族」の繋がりを重視し、コミュニケーションを図る事に努め、2部でバイオリン演奏会を開いた。
- ⑤基本報酬が下がり如何に算定可能な加算をとるかが、今の特養には求められる。報酬単価が高い加算は入所や職員の要件等条件が厳しく、特に日常生活継続支援加算は1年以内の新規入所者の要介護4以上が70%・喀痰吸引者15パーセント以上・認知症Ⅲ以上が65%という要件があり、12月から要件を満たす事ができず1サービス提供加算に変更した。
- ⑥年間で3回の広報誌を計画どおり3回発行、しご家族へ日頃の様子をお伝えする事ができた。

■ケア

【特養】

- ①年間3~4回予定していた特養全体でのミーティングは1回に留まった。情報の共有としては連絡ノートの活用、安全衛生委員会、定例会での資料、ユニットでのミニミーティングで行った。しかし、書面、連絡ノートだけの情報共有にも限界があり、正確性に欠ける事や忘れていたりする事があるので、ユニットでのミーティングを定期的に開催し意志統一が必要。
- ②ユニットリーダー研修への参加を1名予定したが参加できなかった。29年度の下半期で参加予定とする。
- ③居室の担当者が月1回の清掃チェックを行い、清潔保持に努めた。
- ④経口維持加算算定のため食事ラウンド・経口カンファレンスを開催した。経口維持と日々のケアを連動させるためケアプランに経口維持の内容を追記した。
- ⑤「自宅でお寿司や好きな物を食べさせたい」、「時々自宅で過ごさせたい」等のご家族様の要望に応じて当日の自宅までの送迎支援を行い家族の時間を過ごす頂くことができた。
- ⑥2~3人程度の外出行事をできるだけ開催し、外食や買い物に連れていく事ができた。特養での喫茶を開催する事ができなかったがショートのパイキングに毎回数人参加できた。
- ⑦リハビリに関しては特に前年度同様の内容を実施。生活リハを中心に個別に散歩での歩行訓練、全体では音楽リハビリを年間通して開催してきた。
- ⑧新人教育の充実化として新人用業務マニュアルを再作成し、スムーズに業務に取組めるように工夫した。
- ⑨入院中のご利用者の状況把握と退院時のカンファレンスに参加する事でご利用者に負担がないように、且つ介護スタッフに入院時の生活状況を伝える事で適切なケアを実行できた。

【ショート】

- ①初回訪問時に可能な限り看護師に同席を求め医療的な処置及び緊急時対応について確認した。
- ②連絡ノートにより日々の体調変化や情報の共有を図り、利用者の変化を見逃さないようにした。しかし、計画していた年3回の全体ミーティングは開催できず、数人でのミニミーティングに留まった。ミーティングでは個別的なケアの問題解決や新規ご利用者における留意点などを協議、伝達した。
- ③送迎拒否の強い方にはコミュニケーションを図り、30分~1時間程度かかり説得する事や出直して迎えに行くなど工夫に努めた。
- ④リハビリは生活リハ中心に行ったが、希望者には訪問マッサージを導入した。1日、1回の健康体操で心身を早口言葉で嚙下のリハビリにも努めた。
- ⑤体調変化のサインを見逃さず看護、介護、ケアマネの連携を図り、速やかに家族へ報告、医療機関受診を家族へ依頼または受診介助し早期対応を心がけた。
- ⑥転倒は遠視での見守り、事前の環境整備に努めているが転倒事故が数件発生した。転倒リスク未然防止に努めているが同じご利用者の転倒が続けて発生した事は反省すべき点である。
- ⑧物品チェックを確実に入所前、入所後に実施し、物品の紛失がないよう心掛けた。紛失防止への意識を一人ひとりが高めた事で今年度も紛失はなくクレームになる事はなかった。
- ⑨特養またはショートステイの相談者に対し幅広く情報提供する事によって、小規模への利用や唐孔雀園への申し込みなどに繋げ、利用者の拡大に努めた。
- ⑩昨年は外出行事が少なかったことや事前の計画作成が遅くなっていた事からの教訓を生かし、前月からの計画作成を徹底し、外出する行事の回数も増加させる事ができた。
- ⑪感染防止策として毎日、テーブル、ベッド柵、手すり等の消毒を行う事で1度も感染者が発生しなかった。
- ⑫年間の目標稼働率を90%としていたが、結果は89%であった。ロングステイの方の施設入所、入院等ですぐに空所が埋まらなかったことが主因である。
- ⑬広報誌の作成を年2回予定していたが作成できなかったため、来年度はぜひ年2回発行したい。
- ⑭居室介護支援事業所のケアマネージャーにショートステイ時の様子や介護のポイントなどを毎月作成し、情報の共有に努める事が出来た。

■利用者諸表(特養)

入所年齢別・性別

(単位:20名)

性別\期間	60～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男				3	1		1		5	86.9歳
女			2	3	4	4	2		15	87.9歳
計			2	6	5	4	3	0	20	87.6歳

男性 最高 98歳 最低 80歳
女性 最高 96歳 最低 76歳

在所期間

(単位:20名)

性別\期間	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8年以上	計
男	1	2			2				5
女	4	1	3	2			1	4	15
計	5	3	3	2	2	0	1	4	20

ADL調査表

(単位:20名)

区分	食事	着衣	入浴	歩行車
自分で出来る	9	2	1	1
介助で出来る	11	7	8	3
全然出来ない	0	11	11	16
経管栄養				
胃ろう	0			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり)

(単位:名)

問題行動	人	率(%)	問題行動	人	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	3	15.0%	独語	1	5.0%
大声・暴言	3	15.0%			
暴力・介護抵抗	4	20.0%			
収集癖	1	5.0%			
異食	3	15.0%			
不潔行為	2	10.0%			

要介護度状況

(単位:名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男				2	3	5	4.6
女			3	5	7	15	4.3
計			3	7	10	20	4.3

*29年3月末現在の数値で利用介護度とは相違

H27年度 ショートステイ月別利用者数・稼働率表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	18名	17名	19名	18名	19名	19名	22名	19名	15名	16名	17名	17名
うち新規	0名	1名	3名	3名	0名	1名	4名	2名	0名	0名	1名	1名
延べ日数	282日	254日	262日	290日	300日	260日	257日	261日	261日	282日	256日	284日
稼働率	94%	82%	87%	94%	97%	87%	82%	87%	84%	91%	91%	92%

小規模

■運営

28年度初めの4月では登録18名でスタートし、6月には21名まで増加する事ができたが、新規登録者以上に施設入所、入院者が続き、登録人数も16名まで減少した。2月にロングステイのニーズ増加と登録者確保のに宿泊定員を6名から7名に変更したが、他の登録者との調整が難しく、増加に至らなかった。ショートステイのように居宅支援事業所から依頼や紹介があるわけではなく、新規登録となるケースは包括からの依頼が最も多く、次にご家族から直接相談を受けるケースや特養ショートステイの見学、申込希望の方に声を掛けるケースであった。

延べ利用者は5,938名(前年比▲572名)、内訳 訪問153(▲286)、通所4,218(▲213)、宿泊1,567(▲73)

■ケア

【看取りケア】

H28年11月～H29年1月にかけて90歳女性(要介護4)の看取りケアを行った。11月の3日に嘔吐されてから食事は入らなくなり、食事形態の変更、嗜好品(アイス・果物等)を食べてもらうよう努めてきた。主治医は津村Drで週2～3回往診に来て頂いて、生活上の相談、状況報告を行い連携に努めた。ご家族の望まれる事を可能な限り実施していきたいと考え、体調がいい時の入浴や一時外出する事で家族との大切な時間を過ごして頂いた。

【医療】

ロングステイ利用の方が増えた事もあり定期診療も増加した。主治医や薬剤師と心身の変化など報告、相談して連携に努めた。

主治医への連絡は重篤化する前に体調変化を看護師へ報告し、状態に応じて主治医、ご家族へ報告した。

【訪問】

独居の方を中心に訪問を行い、主にバイタルチェック・服薬管理、安否確認を実施してきた。通いに対して拒否が強い方でも訪問を行い、バイタルや安否確認を行う事でご家族へ安心感を与える事ができた。

【リハビリ】

専門職(PT・OT)が在籍していないため、介護職が生活リハや体操、リハビリバイク等のリハ機材を利用しADLの維持に努めてきた。

高齢者向きの健康、リハビリ体操を1日2回と研修で学んだシナプソロジーを行い、身体と頭の活性化に働きかけた。

個別的やリハビリにはあまり着手できなかった事があるのでH29年度はケアプランに記載し、個別的にリハビリを実施できるように進めている。

【家族会】

今年度は10周年もあり家族会を行う事ができなかったため、H29年度は8月に予定している。

【行事】

行事計画で、高齢者世帯の家族も一緒に参加をしてもらい夫婦で外出する機会をもうける事で、有意義な1日を過ごしていただくことができた。

外食でスロー、利用者の経営している田主丸のカフェに行く事ができた。その他北野町のブルーベリー狩りや博多で行われた落語にも抽選で招待され楽しんで頂き、3月には2年続けて柳川のさげもんに行き買物や軽食され喜ばれた。

看 護

1 入居者、ご利用者の些細な変化を早めに把握・報告し、囑託医や主治医の指示により早期受診や点滴等施設で可能な医療の提供により、重症化・重篤化を回避できた。

①他院受診状況

内科13回(7名)、整形外科13回(6名)、フットケア外来12回(2名)、眼科受診5回(4名)、眼科往診13回(2名)、耳鼻咽喉科5回(3名)、皮膚科9回(3名)泌尿器科8回(2名)、脳神経外科2回(2名)、

②博愛病院院長、囑託医等の往診19回、回診52回

③博愛病院胸写:入所時2名、定期20名、肺炎疑い等3名

④入院4名 延べ52日(特養のみ)

⑤救急搬送 特養3回(2名)、小規模1名

2 夜間医師指示受け及び看護師対応状況(平成28年度)

特養	救急搬送	1
	医師への報告	5
	看護師の対応	6
ショート	救急搬送	0
	医師への報告	1
	看護師の対応	0
小規模	救急搬送	1
	医師への報告	0
	看護師の対応	1

3 感染対策

毎月、感染環境委員会を開催し、感染症・食中毒の予防、蔓延防止に努めた。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
スタンダードプリコーションとは	手指消毒について	環境整備 熱中症について	食中毒について	疥癬について	結核について
10月	11月	12月	1月	2月	3月
インフルエンザについて	ノロウイルスについて	肺炎の原因にもなる誤嚥! その原因と予防法	レジオネラ症、ノロウイルスについて	腸管出血性大腸菌感染症について	安全な職場環境

4 褥瘡対策

介護職員向けに6月16日、1月19日に褥瘡対策勉強会を実施
今年度褥瘡形成者3名、全員治癒し現在褥瘡者なし(特養のみ)

5 看取り

特養入所時に入居者、ご家族に看取りケアについて説明
介護職員向けに4月10日、4月17日、5月17日に勉強会実施
特養退所者 2名 (2名とも看取り介護加算を算定済)

6 喀痰吸引について

認定を受けた介護職員向けに痰の吸引手技確認、心肺蘇生訓練(年4回実施)
福岡県喀痰吸引等研修 講師養成課程修了者 1名

7 緊急時対応

窒息時の対応訓練を各事業所で延べ6回ラウンドにより実施。(6, 7, 8, 12, 1, 2月)
夜間緊急時の対応 年2回実施(4月21日、10月20日)

送迎、訪問時等 異常発見時の対応 年2回実施(5月19日、11月17日)

8 嘔吐者発生時(ノロウイルス感染疑い時)のラウンドによる演習

11月23日(特養)、11月30日(ショートステイ)、12月14日(小規模多機能)に実施

9 新入職員研修

4月4日感染対策、9月8日夜勤者に対する夜間緊急時の対応

10 感染症罹患者

今年度は12月25日特養ご利用者様の嘔吐に始まり、職員5名が感染性胃腸炎に罹患するという重大な事案が起こった。(うち、利用者1名、職員3名が検査結果ノロウイルス感染と診断される)

例年ノロウイルス対策として、嘔吐者発生時の対応・ラウンドによる準備状況の確認・嘔吐者発生時の対応等の訓練を実施していたが、日頃の感染予防対策が充分でなく感染拡大を招いたと反省している。

今回のノロウイルス感染で見直した感染対策を実施し、発生予防、発生時の感染拡大防止を実践したい。

その他、職員にインフルエンザ罹患者が1名発生したが、ご利用者の罹患はなかった。

■ 行事实績(施設全体)

実施時期	行事名	内容・成果
4月5.7.11日	外出:小規模17名・家族2名	外食(スシロー、龍の家):久留米百年公園 つつじ祭り パン屋でのコーヒー:久留米道の駅
4月25日	慰問:合唱	慰問 明善OB「合唱団虹」
4月27日	外出行事:特養・3名	買物ツアー、サンリブ
5月10.13.16日	外出:小規模18名 家族1名	石橋文化センター薔薇フェアー・利用者の経営している カフェでの軽食
5月18日	外食:特養4名	スシローでの昼食
6月9日	慰問	マジックショー
6月9.13	外出:小規模13名 家族1名	北野町ブルーベリー狩り
6月14日	外出:ショート8名	久留米道の駅での買い物
6月15日	外出:特養・3名	ゆめタウンでの買い物
7月4日	外食:特養2名	ジョイフルでの昼食
7月8日	園内:パフェづくり:小規模	軽食づくり
7月19日	外食:ショート・7名	ジョイフルでの軽食
8月17.18	園内:かき氷パーティー:小規模	利用者と一緒に作る
8月30日	園内:かき氷パーティー:特養	利用者と一緒に作る
8月22.29日	外食:ショート	コメダコーヒー
9月9日	ニュータウン保育園交流会	合唱、演芸披露
9月15日	久留米市健康福祉部長来園	長寿のお祝い
9月17日	明星中学校吹奏楽部演奏会	合奏
10月1日	高良内校区敬老会:6名	校区敬老会
10月8日	十周年記念式典	式典、立食パーティー
10月22日	明星中学校親権の集い	作品展示
11月5日	博多、天神落語祭り 4名	落語鑑賞
11月10.14.17	秋の紅葉見学:小規模12名	秋月城跡地散策
11月15日	慰問	鶴の会
11月21日	外食:特養2名	ゆめタウン
12月9日	慰問	民謡
12月17日	クリスマス会	楽器演奏、そろばん踊り、合唱、2人婆織
12月20日	忘年会:小規模	鍋料理
1月5日	外出:特養・4名	初詣:日吉神社
1月11日	外出:ショート9名	初詣:高良大社
1月6.10.12日	外出:小規模14名	初詣:七木地蔵
2月7.10.13日	外食:小規模15名	ミスド
3月10.13. 14	外出:小規模15名 家族1名	柳川 さげもん
3月28.29.31日	花見	桜公園でお弁当を食べる

定例行事

実施回数	行事名	内容・成果
10回	バイキング(小規模・ショート) *特養は 1回参加	季節に合わせたバイキング形式の昼食
6回	散髪	訪問散髪
9回	小規模誕生会	軽食づくり、レク等
7回	横山先生の音楽リハビリ	音楽に合わせたリハビリ、合唱

■ 研修実績(外部)

実施時期	研修名	内容・成果
5月7～21	社会福祉施設役職員研修:2名	新任職員研修
5月15日	高齢者虐待防止研修:1名	介護施設従事者による高齢者虐待の防止について
5月16日	定期総会:2名	各部会からのH27年度の報告、H28年度の取り組み
5月25～6月23日 7月6～8月5日	認知症介護実践者研修:1名	認知症への理解、介護技術・アセスメント、ケアプランの基本 +施設実習5日間(自施設)×2回
6月12日	南圏域意見交換会	新人職員紹介:自立支援模擬地域会議 意見交換
7月8、17日	施設役職員研修基礎研修:1名	1日目:テーマ「福祉の職場で活かすセルフマネジメント」 2日目:テーマ「対人援助スキルアップと効果的なコミュニケーション」
7月11日	看護師職能委員会Ⅱ研修:1名	高齢者の薬に関する知識
7月13日	職員研修:2名	「リーダーとしてのチームワークづくり」
7月13日	小規模部会研修:1名	①介護報酬改定について②人材育成について③情報交換 及び対策検討会
7月22～30日	介護福祉士実習指導者講習:1名	介護福祉士の実習を受け入れる為の講習
8月1日	生活相談員研修:1名	「施設職員に求められる役割・連携とマネジメントスキル」
8月21～ 11月12日	喀痰吸引等研修:1名	喀痰吸引等研修
8月19日	小規模多機能部会研修:6名	小規模での看取りの事例発表 講師:在宅療養支援診療所 きずなクリニック 院長 池田 真介先生
9月18日	認知症ネットワーク研究会:1名	「久留米市における認知症施策」聖ルチア院長 大治太郎先生 「認知症初期集中支援チームの概要と実践」
10月7日	老人福祉施設職員研修:1名	「高齢者虐待防止・権利擁護について」 講師:特別養護老人ホーム けやき荘 宮島 優氏
10月13日	介護職員研修	「チーム作りの技術、リーダーシップとメンバーシップ」 情報交換会など
10月27日	避難訓練	年2回の訓練 日中想定
11月17日	小規模部会研修:3名	職員向けの腰痛体操
11月25日	看護研修:1名	結核対策
11月25日～ 12月22日	認知症介護実践者研修 1名	認知症介護の理解、アセスメント、ケアプラン作成までの過程演習
12月7日	看取り研修:3名	特養の常勤医師による講話 「人生の最後まで豊かに生きる」
12月20日	介護支援専門員の為の 認知症研修:1名	認知症の早期発見、早期治療に結びつける。認知症の家族、 本人への対応力の向上
1月22日	筑老協研究大会:3名	事例研究発表交流会
1月23日	あったかホームコンサート 1名	バイオリン演奏 認知症カフェ 表彰
2月10日	ストレスマネジメント研修 :1名	働きやすい職場づくりの為に必要なメンタルケアに関する知識、 技術について学ぶ
2月16日	介護サービスケアプラン指導 研修会:2名	ケアプランの立案の流れ 地域包括ケアシステムの実現に向けたケアマネジメントの思考過程
2月18日	平岡福祉専門学校 研究発表会:2名	卒業研究発表
2月22,23	小規模多機能等計画作成 担当者研修:1名	小規模多機能におけるケアマネジメント研修
2月26日	第3回職員研修:1名	福祉施設職員情報交換会
2月27日	スーマ装具等商品説明会:3名	スーマ装具の説明、無料サンプル配布など
3月7日	看取り介護研修:2名	「看取りの作法と家族・スタッフへのグリーフケア実践」 看取りの思いで発表 3事例

景福会栄養・地域配食

■運営

・年間栄養課目標

- ①栄養ケア計画書を中心とし、入所者の身体状況を把握し、特徴・問題点を捉えた日々のケア・アセスメントを通して、個々の状態にあった食形態を提供する。
- ②常に専門知識と技術の向上に努め、多職種と連携を図り質の高い食事サービスを提供する。
- ③「はいから食堂」の偶数月開催。(3回/年)
- ④デイサービスのバイキングの開催(2回/月)
- ⑤桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキングの実施(毎月)

結果

- ①唐孔雀園(毎週木曜日)・桜花台園(月1回)、栄養カンファレンス(メンバー:施設長・施設課長・看護主任・ケアマネ・PT・各ユニット代表・総務・委託栄養士・管理栄養士)を実施し、常にご利用者の状態に合った食事を提供できるように、飲水率・水分量・体重変動・皮膚状態・嚥下状態・検査値に基づいて対応しました。また、施設課との連携を密にして日々の体調変化にも迅速に対応しました。経口維持ラウンド、会議に取り組みました。(メンバー:医師・施設長・施設課長・看護主任・ケアマネ・PT・各ユニット代表・管理栄養士)経口摂取に問題のある方、誤飲誤嚥リスクの高い方に対して、唐孔雀園(第1、第3月曜日)、桜花台園(第2火曜日)の11時からラウンド、15時から会議を行い、安心・安全に経口摂取して頂けるよう多職種で意見を出し合い対応しました。
- ②「はいから食堂」については、年3回開催。
- ③デイサービスのバイキングについては、毎月開催。
- ④桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキングについては、予定通り開催。

・施設目標

- ①栄養ケア計画の充実
- ②「はいから食堂」の年3回開催。
- ③デイサービスのバイキング開催。
- ④桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキング開催。

結果

- ①前述した栄養カンファレンスにより、1人1人に細やかな対応をとることができました。
- ②「はいから食堂」の大きな狙いは、常食の方に「制限のない・自由な食事」を職員と一緒にゆっくり楽しい時間を提供することでした。今年度はおやつを中心に取り組みました。日頃食べられない物を提供でき、利用者様に喜んでいただけたと思います。
- ③デイサービスのバイキングについては、担当職員と打ち合わせを行い、ご利用者の希望に沿った食事の提供ができました。
- ④桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキングについては、担当職員と打ち合わせを行い、また、ご利用者様にも直接リクエスト等を聞きながら、献立を考え、食事の提供を行いました。バイキングを特養の常食のご利用者もショートステイと一緒に参りました。

・配食サービスの目標

配達総数は27度7,206食、28年度6,152と減少が見られ、積極的にPR活動ができず、実施方法に工夫が必要だと感じました。
29年度は、栄養課で配食サービスを運営し、料理教室・居宅支援事業所等でのPR活動を行うとともに、療養食等の開始時の、同行訪問、細やかな対応を行い、満足いただけるようなサービスの提供をします。

・地域支援プロジェクトの目標

地域との交流・貢献と法人PRを兼ねて、今年度は以下の計画を実施しました。

①男の料理教室

東国分公民館 缶詰め魚 アレンジメニュー～さば缶・いわし缶～(11/29)
青峰公民館 夏パテ対策メニュー(7/20)

②料理教室

東国分公民館 離乳食・乳幼児期おやつ教室(10/4)
高良内公民館 そうめんアレンジ+小鉢+涼デザート(6/22)・夏パテ対策メニュー(7/27)
秋の食材で色々～肉料理等～(9/28)・おせち料理をリメイク(12/14)
缶詰め魚 アレンジメニュー～さば缶・いわし缶～(1/25)

今年度から高良内校区の料理教室も定期的の実施する事ができました。

③「防災の日」について

今年度は、炊き出し訓練を行わず、ご利用者様に防災の日の意識づけを兼ねて、ランチオンマットを作成し、デスポ食器にて食事の提供を行いました。

■衛生管理

個人の衛生管理、食品の取り扱い衛生管理等はマニュアルに沿って実施しました。

大きな事故はありませんでしたが、異物混入が1件発生しました。

①異物混入(魚の骨)9月

骨なしを発注していたにもかかわらず混入していました。食事介助が必要な方だったため職員が気づき利用者様が食べられることはありませんでした。再度、発注先には注意を促しました。また、現場でも十分注意し調理を行っています。今後とも、事故が起きないよう万全の対策をとっていきたいと思います。

■行事实績
定例昼食

実施時期	行事名	内容・成果
1日・15日	お赤飯・饅頭・茶碗蒸し	利用者にも好評で月に2回、お赤飯・饅頭・茶碗蒸し付きの献立を実施
第4月曜	誕生膳	祝いの名札・ランチョンマット・お品書きを添えて誕生膳を提供
5月5日	子供の日	お茶プリンを提供
5月19日	開園記念祝膳	赤飯・紅白饅頭等の祝膳を提供
7月7日	七夕膳	七夕そうめん・七夕ゼリー等提供
8月14日	精進風料理	お盆入りのため、精進風料理(そうめん・和え物)を提供
9月1日	防災の日 非常食	防災のランチョンマットを作成。献立はおにぎり・漬物・豚汁・さんま缶・ヨーグルト・バナナ・ビスコ
9月15日	敬老膳	ランチョンマット作成。献立 粟入り赤飯、かしわおにぎり、ひょうたん寿司、魚の西京焼き、炊き合わせ、紅白なます、きのこ柚子和え、みずかつ、紅白饅頭、お吸い物
10月31日	ハロウィン	ハロウィンポーロの提供
12月24日	クリスマス膳	チキンライス・ミートローフ・コロケ盛り合わせ・サラダ・クリスマスケーキ・スープを提供
1月1日	おせち料理	昼食・夕食におせち料理を提供
2月3日	節分	昼食時、節分ポーロを提供
2月14日	バレンタインデー	昼食時、チョコどら焼きを提供
3月3日	ひなまつり膳	ひなまつり膳・めびなまんじゅうを提供

はいから食堂

実施時期	内容
6月16日	れもんロールケーキ、シャーベット、クレープ、フルーツあんみつ、くずまんじゅう、ところてん、ゼリー、ジュース、コーヒー
10月20日	秋のおやつ、さつま芋プリン、スイートポテト、豆乳フロマージュ、ミルククレープ、シフォンケーキ、バナナケーキ、ケーキ、ゼリー、あんまん
2月16日	春の献立、おはぎ、桜餅、いちごババロア、フルーツパフェ、

デイサービスバイキング

実施時期	内容
4月	4月20日 御飯、オムレットマトソース、さつま芋のオレヅ煮、サラダバイキング、果物、味噌汁、パンブキンスープ
	4月21日 御飯、フンジャオロス、揚げ出し茄子、サラダバイキング、果物、ニラスープ、コーンクリームスープ
5月	5月20日 チキンカレー、ソーセージ炒め、サラダバイキング、果物、コンソメスープ、パンブキンスープ
	5月21日 御飯、魚のごま風味焼き、オイスターソース炒め、サラダバイキング、果物、清汁
6月	6月13日 御飯、魚の照り焼き、筍のキンピラ、サラダバイキング、果物、味噌汁、パンブキンスープ
	6月14日 冷やし中華、おにぎり、そぼろあんかけ、サラダバイキング、果物、清汁、コーンクリームスープ
7月	7月20日 御飯、ジャポネハンバーグ、南瓜の煮物、サラダバイキング、果物、味噌汁、コーンスープ
	7月21日 チキンカレー、ソーセージ炒め、サラダバイキング、果物、コンソメスープ、パンブキンスープ
8月	8月19日 御飯、魚の味噌煮、レンコンの炒め煮、サラダバイキング、果物、清汁、コーンクリームスープ
	8月20日 御飯、魚のピカタ、味噌炒め煮、サラダバイキング、清汁、果物、パンブキンスープ
9月	9月13日 御飯、有馬焼き、炒め煮、サラダバイキング、果物、味噌汁、パンブキンスープ
	9月14日 鶏肉のスタミナ丼、冬瓜の煮物、サラダバイキング、果物、味噌汁、コーンスープ
10月	10月11日 御飯、魚の照り焼き、じゃが芋の煮物、サラダバイキング、果物、味噌汁、コーンスープ
	10月12日 御飯、豚肉の生姜煮、大根煮、サラダバイキング、果物、味噌汁、パンブキンスープ
11月	11月22日 御飯、魚の和風ムニエル、サラダバイキング、洋風煮、果物、清汁、コーンスープ
	11月23日 御飯、魚のマヨ焼き、ミオでん、サラダバイキング、果物、味噌汁、パンブキンスープ
12月	12月12日 御飯、豚肉の生姜煮、大根煮、サラダバイキング、果物、味噌汁、パンブキンスープ
	12月13日 御飯、魚の味噌焼き、ジャーマンポテト、サラダバイキング、果物、清汁、コーンクリームスープ

1月	1月20日	御飯、西京焼き、トマトの大豆煮、菜の花和え、サラダバイキング、果物、清汁、スープ
	1月21日	御飯、メンチカツ、サラダバイキング、南瓜の煮物、果物、味噌汁、スープ
2月	2月13日	御飯、魚の味噌焼き、ジャーマンポテト、サラダバイキング、果物、清汁、ポタージュ
	2月14日	御飯、ミートコロッケ、サラダバイキング、果物、大根のコンソメスープ、ポタージュ
3月	3月16日	豚味噌丼、揚げなす煮、サラダバイキング、果物、清汁、パンプキンスープ
	3月17日	御飯、魚のごま風味焼き、切干大根煮、サラダバイキング、果物、清汁、スープ

○桜花台園

実施時期	内容
10月8日	桜花台園10周年記念式典 バイキング ご利用者様:お弁当栗入り赤飯、ゆかりおにぎり、散らし寿司、きのご蒸し、紅白なます、茄子の和風南蛮、メンチカツ、紅白寒天、清汁

小規模多機能

実施時期	内容
5月17日	バイキング:ドリア、ジャポネハンバーグ、ごま豆腐、ケーキ、フルーツポンチ、スープ、ジュース
7月23日	バイキング:ミニ冷やし中華、ミニピピン丼、ところてん、フライドポテト、デザート、フルーツ、ジュース
10月22日	バイキング:ゆかりおにぎり、味噌ちゃんこ鍋、揚げ物、キンピラ、果物、コーヒーゼリー、ジュース
12月24日	バイキング:ミニおにぎり、みぞれ鍋、肉しゅうまい、シーザーサラダ、果物、ジュース
2月21日	バイキング:巻き寿司、いなり寿司、天ぷら盛り合わせ、サラダ、味噌汁、デザート、ジュース
1月19日	バイキング:ごはん、すきやき、温泉豆腐、温泉卵、梅和え、プリン・アラ・モード、サイダー
3月28日	お花見弁当:鶏そぼろ御飯、ピース御飯、ゆかり御飯、魚のムニエル、春キャベツのサラダ、筑前煮、なすのポン酢かけ、コロッケ、果物

ショートステイ

実施時期	内容
6月25日	バイキング:巻き寿司、いなり寿司、あさりおにぎり、魚の南蛮漬、野菜の天ぷら、鶏のから揚げ、果物、デザート、ジュース
8月26日	バイキング:散らし寿司、冷しゃぶ、焼きナス、ところてん、南瓜の炊き合わせ、清汁、アイスクリーム、ジュース
11月26日	バイキング:ミニおにぎり、みぞれ鍋、肉しゅうまい、シーザーサラダ、果物、ジュース
1月23日	バイキング:巻き寿司、いなり寿司、天ぷら盛り合わせ、酢の物、南瓜の煮物、味噌汁、ジュース、ゼリー
3月23日	バイキング:お好み焼き、ごま和え、ジュース、ムース
3月29日	お花見弁当:鶏そぼろ御飯、ピース御飯、ゆかり御飯、魚のムニエル、春キャベツのサラダ、筑前煮、なすのポン酢かけ、コロッケ、果物

■研修会

実施時期	研修名	内容・成果
5月7日	診療報酬改定情報・平成30年介護医療同時改訂について	診療報酬改定、管理栄養士にしかできない栄養指導技術を磨く等
5月26日	特定給食施設研修会	給食施設の衛生管理、巡回指導方針等
11月7日	ノロウイルス食中毒予防講習会	ノロウイルス食中毒予防について
3月10日	特定給食施設研修会	栄養管理の取り組みについて、給食施設における災害時の備え